

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月14日

事業所名：尼崎市立あこや学園

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切である	<ul style="list-style-type: none"> 各部屋、廊下、ホール、園庭など整備、環境面で配慮されている 親子通園9名位は、少し狭いと感じる時がある 	
	2	職員の配置数は適切である	<ul style="list-style-type: none"> 全体で見れば適切かもしれないが、子どもの様々な状態を考えると足りていない（5） バス添乗業務固定の職員が、もう一人いるとより安心する 子どもの姿や療育内容により、必要な時は応援体制がとれている 大人と子どもの割合が1：4の施設が多い中、1：3の割合で取り組んでいるのは、子どもに合わせて配慮ができています 配置基準は守られているが、保育所等訪問支援と兼務しており、契約人数が増加すれば保育士が不足するかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士が、常勤ではなく、週に3日の勤務であり、保護者のニーズを考えると、今後の配置については検討する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真を保育室やトイレなどに貼り、視覚的にわかりやすくしている（2） 視覚支援による身辺整理や、個々の姿に応じた対応を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、限界がある（2）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの身長に対して洗面台が高いため工夫が必要 ジェスパ（食品添加物 殺菌料製材）を取り入れて感染症の予防をしている 清掃業務の方が隅々まで行き届いた掃除を下さっているが、職員も療育開始前の環境確認をしっかり継続する 毎週月曜日に保育室の安全点検（設備、壁面、床、出入口等）を行っている（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 踏み台を利用することで、高さを調節する 子どもの成長や姿に応じた空間環境設定が出来ていないところが課題
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<ul style="list-style-type: none"> 全体会議で共有する場面が多い（2） 会議や報告、職員指導等が行き届いている 事前に立案し、反省会を開くことで業務改善を進めるよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 全体会議の有り方や行事等の振り返り、反省会の中で職員からの活発な意見が出にくいことがある為、PDCAサイクルへの積極的な参画については今後の課題 新規採用職員向けの系統立てた育成プログラムの整理、周知について今後検討する
	6	保護者等向け評価表により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート、事業所評価等により保護者の意見を受け、職員全体で話し合い改善に向け努めている（11） 	<ul style="list-style-type: none"> これから実施の予定で話し合いを進めている（2）
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<ul style="list-style-type: none"> 親の会で保護者等に向けて、一つひとつ返答を丁寧に行っている（2） 事業報告は公開しているが自己評価の公開はまだできていない 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価の公開は予定しており、準備段階である（7）
	8	第三者による外部評価を業務改善につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による外部評価を受けていない 	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<ul style="list-style-type: none"> 平日、休日共に積極的な研修への参加が難しい 定期的に研修の有無や推進、提示がなされている（3） 	<ul style="list-style-type: none"> OJTを実施しているが、継続、充実させていくことが課題
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> 担任間でしっかりと話し合い、個別支援計画を作成している（5） 自分だけではニーズや課題を分析したり、適切な支援を考えたりすることが難しい場合があるが、スーパーバイズを受け、理解や学びを深めている 保護者に個別支援計画作成の為にアンケートをとったり、学期ごとに保護者と懇談の時間をもちながら、一緒に考えて作成している 懇談記述式シートにて保護者（子ども）のニーズの確認を行っている 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<ul style="list-style-type: none"> 園独自のアセスメントツールはあるが、標準化されたものではない為、内容は今後検討する

	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な内容が設定されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画にて、個々に合った支援を考えられるよう努めている ・一人ひとりの発達、家庭環境等を把握し、必要な目標を立てⅠ期からⅢ期にわたって設定し支援している 	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<ul style="list-style-type: none"> ・担任同士または児童発達支援管理責任者（主任・チーフ）から指導を受けながら進めている ・個別支援計画に沿って支援を行い、経過を示して再構成し、子どもの姿が変化した時は、その都度、支援内容を見直し保護者の同意を得ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに捉われず、日頃から支援を見直ししたり、子どもの姿を確認したりすることで、常に個別支援計画を意識した支援提供に努める
	14	活動プログラムに立案をチームで行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、保育内容を話し合っていて決めている（４） 	
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が固定化しないように、クラス、年齢ごとに話し合っている（２） ・その時の子どもの姿に応じて工夫しながら立案している ・様々な活動で色んな体験ができるように工夫している（２） 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日の個別保育の回数は少ないが、自由遊び時や設定保育時に個々の目標を意識して関わっている ・個別と集団での関わり（社会性や身辺面）、それぞれ個々に応じた個別支援計画を作成できるように心がけている ・一人ひとりの育ちや特性など踏まえて、活動する経験内容を考え、クラス運営を行っている ・発達支援目標、社会性・コミュニケーション・遊び・身辺面など優先度の高さや、育ちの特徴・芽生えを活かして作成している 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の違いや時間休暇取得などにより、その日の内に実施できないこともある ・前日に準備や役割を決め、当日の朝に再度確認をしている（５） ・リーダーを決め、役割分担をすることでスムーズに支援が行えている 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の違いや時間休暇取得などにより、その日の内に実施できないこともある（３） ・担任間はもちろんのこと、年齢別、集団別の活動の際にも、クラスを越えての振り返りや子どもの姿の共有を行っている（２） 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、反省会や検討会を実施しているので、職員各々が積極的に会議に参画し、意見が述べられるように、会議の有り方について今後検討する
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> ・保育日誌を毎日記載することで、日々の子どもの状況などを振り返ることができる ・日々の療育や火曜日保育などを中心に、その都度反省会を行い、振り返りと次回への改善点を職員で共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育日誌は毎日確実に記載できているが、日々の振り返りや反省会で出た改善点など次へと生かす記録になっているかについては、今後検討する
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとのモニタリング、評価を確実にしている ・子どもの姿に応じて、個別支援計画の支援の手立てや目標の再設定などを行い、保護者に同意を得て支援を進めている ・複数の職員で子どもの姿や発達支援目標の確認をしている 	
関係機関や保護者との連携	21	障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議がある時は担任や主任、児童発達支援管理責任者が必要に応じて参加している 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関との情報共有がなされている ・担任間で療育経験の長い指導員が主となって行っている 	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係者と連携した支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医と連携し、緊急時（怪我等）対応できるよう体制を整えている ・必要に応じてエピペン使用における職員研修の依頼を行い、実施した ・吸引、注入等、卒園時に移行支援の必要な子どもは、保護者に確認後、現状を伝えマニュアルを開示する 	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	<ul style="list-style-type: none"> ・園で気になる症状がある子どもの状態は、保護者に確認後、文書で担当医に伝え、必要時は受診に同行している ・医療処置の必要な子どもには、主治医に指示書を記入して頂き、緊急時にも対応できるようマニュアルを整え、保護者に確認後、全体周知に努めている 	

	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> 卒園前に就園先との引継ぎを行い、卒園児全員に対してアフターケアを行っている。また、必要に応じて保育所等訪問に移行できることを、就園先にも周知している（2） 	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> 卒園前に就学先との引継ぎを行い、卒園児全員に対してアフターケアを行っている。また、必要に応じて保育所等訪問に移行できることを、就学先にも周知している（2） 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<ul style="list-style-type: none"> たじかの園の障害児等療育支援事業を利用し、作業療法士による施設支援を実施している（3） 子どもの通所している事業所の個別支援計画を受け取り、情報共有を行うことで、支援の方向性の確認を行っている 関係機関懇談会で情報共有をし、必要に応じて連絡を取り合い情報共有に努めている（2） 研修に参加したり、他事業所の見学に行ったりし、相互理解に努めている 研修報告書は必ず目を通すようにしている 	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<ul style="list-style-type: none"> 2歳児クラスは年度後半に、あこや学園のプレイルームにて一緒に遊ぶ中でお互いを知っていく経験をしている 3歳児クラスは11月以降に、毎月一回程度、私立保育園の4歳児との保育交流を行い、戸外遊びや室内遊び、集団遊びを通して、お互いを知ったり、集団で遊ぶ経験をしている 4～5歳児クラスは年間を通じて、保育所交流（公立保育所・私立保育園）やリズム交流（私立保育園）を行い、お互いの姿を知ったり、集団の中で、言葉や遊びなどの刺激を受け、いろいろな経験を通して人や物に自分から働きかけていく力を伸ばしている（3） 	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や子育て会議等へ積極的に参加しているか	<ul style="list-style-type: none"> 施設長が参加している 	<ul style="list-style-type: none"> 月一回、施設長と児童発達支援管理責任者があまっこ部会に出席しているが、職員への報告が不足している為、今後検討する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<ul style="list-style-type: none"> 日頃、保護者と会う機会が少なく、いつもバタバタしていて、ゆっくり話を聞く時間がもてていない 火曜日保育や行事時に直接話をしたり、電話や連絡帳でやりとりをしたりすることを大事にしている（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに応じた面談や懇談の回数など、保護者の意向を聞きながら今後検討する
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援、懇談等はあるが、ペアレント・トレーニングはまだ行っていない（4） 以前ペアレント・トレーニングを実施していた経緯もあり、今後は希望される方に対し実施を検討したほうがよい ペアレント・トレーニングは実施していないが、母親一日保育やフリートーキング等を通して、家族支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士を中心に、平成31年度より、ペアレント・トレーニングを実施する予定。すでに、職員間でも実施に向けた職員向け研修を予定している
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に、園長が行っている 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と共に、子どもの姿や課題、家族の思いや生活環境をふまえて個別支援計画を作成し、同意を得ている 家庭訪問や個人懇談で、個別支援計画の説明を丁寧に行っている（3） 保護者に対して一方的な伝え方にならないように、子どもの姿を具体的に伝えられるよう心がけている 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容によっては、各専門の職員へ繋いだり、助言を得たりしている 連絡ノートや親子通園時に直接話をする等して、丁寧な対応と適切な支援を常に心掛けている（2） 	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> 毎月行っている親の会を通して支援している 親の会主催の茶話会（2回/年）や研修会の実施（4～5回/年）を役員の方と連携しながら実施する中で、保護者同士の繋がりを大事にしている 	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	<ul style="list-style-type: none"> 園全体に関わることや、難しい案件に関しては園長、主任、チームに相談し、相談、指導を受け、適切に対応できるよう努めている 苦情対応や相談の申し入れについては、迅速な対応を行う意識とその必要性についての周知や指導がなされている（3） 	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の子どもや保護者に対して発言しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりを月 1 回発行し、クラスの子どもの様子や保育内容、連絡等を保護者に伝えている ・学園だよりを月 1 回発行し、併せて行事やその他のお知らせなどの便りを親の会で配布、説明を行っている（４） 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を園外に持ち出す際は、園長または主任へ報告し許可を得た後、持ち出す情報、氏名（捺印）を『個人情報持ち出し簿』へ記載し、取り扱いについて十分注意、徹底をしている（２） 	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から保護者との情報共有を密に行うようにする ・集団保育においても、一人ひとりの姿に応じた個別対応を大事にしている 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の一つとして、利用可能な園庭開放を行っている（８） ・行事に招待することはないが、園庭開放や、希望者に見学対応を行っている（２） 	
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なマニュアルの確認、作成等を行っている ・感染症が出た場合は、園やバスに掲示して周知し、感染拡大を防ぐ等、感染症対策を徹底している（２） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、保護者への周知を徹底するように努める
	42	非常時の災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応として、避難訓練や防犯訓練を実施している（６） 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行う利用契約、重要事項説明書の説明を丁寧に行い、入園後、保護者に対して『療育』の説明を行う中で、周知を強化する方向で検討する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で確認、共通認識すると共に、定期的な薬の管理を行っている ・クラスの子どものみだけでなく、園児全員の姿の把握を怠らないようにする ・医師の指示書に基づき、てんかん発作時のマニュアルを作成し、対応にあたっている 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー食材を使用する献立の日は、指示書を基にした園内マニュアルに従ってシュミレーションを行い、対応策等、職員間での確認徹底を行っている（３） ・毎月、献立表を保護者、栄養士、調理師、担任で確認し、アレルギー食材のチェックを行っている ・事故を未然に防ぐ為、徹底して全職員に周知している 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を作成し、迅速に全体の会議で報告、周知し、再発防止に努めている（６） 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育の中で、子どもと関わる際の配慮点や注意点等の指導が行われている ・年に一度は虐待防止研修を実施しており、今年度は、事業団職員研修『障害者虐待防止法、身体拘束・行動制限廃止等について』の研修に参加した 	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、職員間で話し合い、会議の場で協議、共通認識をもてるように努めている ・保護者に対しては、やむを得ず身体拘束を行う状況を説明した上で了承を得て、個別支援計画に記載している（４） ・バスの通常外のシートベルト等の着用については、職員間で話し合い、必要に応じて理学療法士から助言を受けている。また、事前に保護者と十分に話し合い、個別支援計画に記載し、通常外のシートベルト等を使用した際には、記録を残している（２） 	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

園児 46 名 回収数 44 名 回収率 96%

事業所名：尼崎市立あこや学園

区分	チェック項目	はい	どちらか	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41	3	0	0	毎日たくさん走って遊んで楽しんでいます。（４） 広く明るく整理整頓されています。 園庭もほどよい広さで ホール、プレイルームも一度に全クラスで使用する場合以外はちょうどいいです。（２） 行事等・・・少し狭いが子どもと先生だけの時は、目が届くためにはこれくらいの大きさがBESTです。 特に雨の日、プレイルームで遊ぶ時、大きいクラスのお友達と一緒にになるとぶつかりそうで怖いです。 トイレが狭く感じます。 自転車等乗り物が増えた分、少し怖いと思う事があります。 自分の子どももよく走りまわったりするので、ぶつかりそうになる事が多々ありました。	プレイルームの利用は、クラスごとではない時もある。その際は、安全確保が行える職員配置をとっている。自転車等の乗り物については、園庭で安全に遊ぶことができる台数の基準を確認している。また、自転車に乗るスペースを意識づける為に、園庭に白線を引き対応する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	7	1	1	専門性も親と子どもに常に寄り添ってくれてとても恵まれています（２） 先生方皆さん熱心で頭が下がります（２） クラス関係なく色々な先生が子どもに声をかけ見ているのを感じます。 職員は小クラス３人、大クラス２人、とても手厚いです。（２） 毎日本当に慌ただしく大変だと思うので人員はもう少し増えたほうが良いです。（２） 先生によってはわかってこない事がみられます。 外遊びの時に一人で歩いていたり、ウロウロしてる子には、先生がついていない時があるので、何かあった時大丈夫なのかなって思う時があります。 今年のらいおん組は、２人が新人の先生だったので、できれば新人の先生は３名の内１名だけのほうが良いと思いました。 作業療法士の先生がいらっしやると普段の様子も見て頂けてより良いです。	児童発達支援センターの直接処遇職員は４：１もしくは３：１のところが多い。必要に応じ、担任以外の職員で応援体制をとっている。職員の専門性については、ご意見を真摯に受け止め、保護者との情報共有を強化していく。作業療法士の配置については、常勤配置は難しいが、現在はたじかの園と連携し、施設支援（巡回）の利用を継続している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	43	0	0	1	園内は、いつも清潔で気持ちよく過ごさせて頂いています。（３） 物の定位置もわかりやすく決まってお絵カード等を用いて予定等もわかりやすいように工夫されています。（３） 走ったりするのでベビーゲートはあってよかったです。 大人のトイレも上に鍵があり子どもたちが勝手に入らないようになっていて、いいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	3	0	0	いつも清潔に掃除されていて、気持ちが良いです。（５） 休園で園庭開放の時、普段以上に細かく掃除して下さっていました。（２） 危険なものや子どもがさわってはいけない物等は上の棚や手の届くところに置いていないので安心です。 おもらした時、床だけアルコールで拭くのではなく足もぬれたタオル（ウェットティッシュ等）等で拭いてあげる等してほしいです。 冬の時期、廊下が寒いです。	全体の会議でも確認をしたが、排泄の失敗時は、汚れている箇所は全てウェットティッシュで拭く対応をしている。不十分な点がないように再度、周知徹底していく。冬の時期の廊下の冷え込みについては、対応策がない。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	43	0	0	1	懇談時に説明して頂いています。 子供の様子を見て家族の希望も取り入れながら必要かつ本人も頑張れるように支援計画を作成して頂いています。（２） 常に子供と接しておられるので先生方もよく子どもを見ていますので客観的に分析されていると思います。 子どもの様子をよく観察して下さっていて今必要な支援を受けられていると思います。	
	2 児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	39	0	0	5	各項目ごとに目標や支援の手立てを設定して頂いています。 きちんとその項目に沿って内容が書いてあり、具体的に設定されています。 支援計画を作成する際、細かく話を聞いて頂き、その時に合わせた課題を目標にして頂いています。	
	3 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40	4	0	0	支援計画を元に目標に向かって必要な支援をして頂いています。（２） 児童発達支援計画に沿ってスモールステップで支援して頂いています。 相談担当の方と連携がよくとれていると思います。	
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	41	0	0	3	家ではできない活動をたくさんしていただいているので、新しい発見があります。（２） 様々な活動を取り入れて色々な経験ができています。 毎月クラスだよりで色々な活動をしてくださっていることがわかります。	

	5	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	37	5	1	1	<p>母子で参加する保育所交流はとても貴重な機会でした。</p> <p>保育所との交流があってとても良いことだと思います。(4)</p> <p>現在もリズム交流や保育所交流などがありますが、できればもっと交流したいです。</p> <p>同年代の子ども達と一緒に遊ぶという機会があまりないのであこやでして頂けて大変嬉しいです。</p> <p>実際にはまだ交流がないので、何とも言えない。(2) ひよこ組は、ほぼ無い。</p>	ひよこ組(2歳児)は1月~3月に、私立保育園の2歳児との交流を設定しているが、感染症流行の時期と重なる為、回数が確保できないこともある。しかし、2学期までは、母子関係を深め、共感関係を育てることを大事に考えている。
保護者への説明等	1	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	1	1	0	ていねいに説明して頂きました。(5)	
	2	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	42	0	0	2	<p>ていねいに説明して頂きました。(2)</p> <p>個人懇談で担任の先生より1つずつ丁寧に説明して頂いています。</p> <p>年に3回見直ししながら個々の子どもにそって作成した個別支援計画を担任の先生と1対1で話し合いながら説明をして頂いています。</p> <p>家族側の思いと先生方のどちらも組み込まれた支援内容できちんと説明して頂いています。</p>	
	3	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	33	7	0	4	<p>連絡帳や直接のお話の中で必要な支援や関わり方を一緒に考えてくださいます。</p> <p>火曜日保育が年に20回もあり、家庭以外の子どもの姿も見ることができ、先生方の子どもへの対応も学んでいます。</p> <p>ペアレント・トレーニングの講習は受けてはいませんが、年20回の火曜日保育や個別の勉強で先生方から教えて頂いたりしています。</p> <p>火曜日の親子登園や父親一日登園など、参加して学ぶことがたくさんあります。</p> <p>ペアレント・トレーニングが入園時に無くなっていたのが少し残念でした。(入園前に行われていた様なので)</p>	平成31年度から、ペアレント・トレーニングの実施を検討、準備している。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	40	4	0	0	<p>話しやすくこちらの話を聞いてくれて安心です。</p> <p>年20回の火曜日保育、日々の連絡ノート等で共通理解ができていると思います。(4)</p> <p>よく、子どものことを見て頂けて日頃の様子が聞けて嬉しいです。</p> <p>担任だけでなく他のクラスの先生からも聞けています。</p> <p>火曜日保育時に先生が色々子どもの様子を教えてくださいますが、なかなかゆっくりお話出来ないで、時々連絡ノートで子どものことを伝えています。</p> <p>先生と話せる火曜日保育が一日のプログラムに追われて情報交換ができないです。</p>	余裕をもって保護者と話をする時間が確保できない時は、電話や連絡帳を活用しながら、保護者と十分に連携をとれるように配慮する。
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	3	0	0	<p>細かいことでも直接や電話などで気軽に相談できます。(3)</p> <p>個人懇談やクラス懇談、連絡帳等でもアドバイスして頂けます。(2)</p> <p>毎月行われる親の会で行事予定やアンケート結果等も伝えてくれます。</p> <p>先生と話せる時間(療育に自分で参加するとき以外)があまりないです。</p> <p>面談の回数もあまりないです。</p> <p>育児に関する助言をもっとしてほしいです。</p>	面談等のニーズには十分に応えたり、電話や連絡帳を活用し、保護者との連携強化に努める。育児について相談した内容を、多くの保護者と共有する事で子育てに生かせるのでは?と言う意見を頂き、懇談や面談の設定回数については今後検討する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	41	3	0	0	<p>毎月、役員さんのおかげで親の会が行われ保護者同士交流ができていると思います。</p> <p>育成会の研修や親の会での研修や茶話会等で、保護者の支援や連携もできていると思います。(3)</p> <p>保育中は、親同士話す機会がなかなかないので、親の会はいい機会だけど、月に1回は少し負担に感じます。</p> <p>参加に強制を感じます。</p>	親の会の参加は強制ではないが、参加して頂けると、園の行事やお知らせが確実にお伝えできる。
	7	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	44	0	0	0	<p>すぐに対応していただいて満足しています。(2)</p> <p>相談、申し入れについてしっかりと対応して頂けます。</p> <p>悩みや困り事があれば、連絡ノートや保育の時などに先生にお話しする事でアドバイスをもらったり支援をして頂いています。</p> <p>たじかの園の先生ともすぐに連絡して、相談して、対応して下さったと思います。</p>	
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	0	0	0	<p>直接お話ししたり、連絡帳等でいつでも連絡が取りあえます。(2)</p> <p>電話での連絡はしづらい時もノートに書いたりする事で丁寧な対応をして頂いています。</p>	
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	29	2	0	13	<p>毎月行われる親の会で行事予定やアンケート結果等も伝えてくれます。(2)</p> <p>毎月親の会の時に、学園からの連絡で説明していただいています。(2)</p> <p>わかりません。</p>	
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか	42	1	0	1	個人情報は守られていると思います。(2)	

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	4	0	4	<p>マニュアルは説明して頂きました。(2)</p> <p>感染症が出た場合、掲示したり、災害時などのマニュアルも決まっています。</p> <p>子どもに対して避難訓練を何回もして頂いています。</p> <p>非常時にメールで送ってくれと、わかりやすく助かります。</p>	非常時用一斉メール配信について、平成31年度からの導入を検討、準備をしている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	2	0	3	<p>定期的に避難訓練が行われています。(3) 去年一度避難訓練を一緒に受けたのですが、親がいない時どのように避難しているのかと考える時があります。</p>	契約時に説明した重要事項説明書P.5及び、5月実施の療育研修で説明した『療育』冊子P.18に非常災害時の対策を掲載している。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	43	0	0	1	<p>毎日楽しく通っています。(6)</p> <p>母子通園なので親も楽しみにしています。</p> <p>楽しみにしているかはわからないけど、いつもあこやに行くときは笑顔です。</p> <p>バスに乗る時は、わざと嫌がりますが、毎日くたくたになるまでたくさん遊びたくさんのことを学んできていると思います。</p> <p>お友達と遊んだり、絵本や制作等楽しんでいるようです。</p>	
	2	事業所の支援に満足しているか	42	1	0	0	<p>大満足です。(2)</p> <p>いろいろな経験が出来ていて良いです。(2)</p> <p>不満や疑問を感じたことがないです。</p> <p>先生方は優しいですし、見守りながら指導して頂いてありがたいと思っています。</p> <p>安心安全でその時々に必要な支援や関わり方を一緒に考えて教えてくださり、子どもの成長と一緒に見守り頂けてとても心強いです。</p> <p>満足はしていますが、時間が朝10時と遅く帰りが14時と短いので、希望者だけでも延長や早朝保育などがあるとありがたいです。</p>	園の療育時間は10時から14時だが、その前後はバスの乗車時間がある。子どもの体力面から考えても、負担が大きく現在の療育時間が適切と考えている為、ご理解頂きたい。(行事等の15時帰りの時は別)